

ナースコールで町のシンボル「ナースポタル」が光る(辰野病院)



議会議員視察研修

長野県辰野町議会 議会改革・町立病院



辰野町議会視察

昨年11月7日から8日に、総務・民生文教・産業建設の三常任委員会合同による横芝光町議会議員行政視察を実施しました。主な視察先は、長野県上伊那郡辰野町議会と辰野町立辰野病院。そして長野県木祖村及び、塩尻市の道の駅を視察しました。

今回の視察研修の目的を、①議会改革の先進地で議会基本条例と活動状況などを学ぶ②町立病院経営の改善への取り組みを学ぶ③道の駅を学ぶ。この3点に絞り、同等の人口規模で、当町・当議会の参考になる最良地を選定させていただきました。

視察内容の第1日目は、まず、長野県辰野町議会の議会事務局長から、議会基本条例の制定経過について説明をいただきました。辰野町の議会基本条例は住民との連携を重視し、議会は町民に対する議会報告会等を少なくとも年1回開催し、説明責任を果たさなければならぬとしており、議会報告会の参加者は年々増え、町民の議会への関心が高まっていると感じているとのことでした。そして、活発な質疑・意見交換の中では「議員の資質を高めるための活性化委員会を立ち上げることが決定し、全議員からスキルアップに関するアンケートを行い、具体的な研修会・懇談会等を検討中である」とのことでした。2時間以上に渡る研修は大変参考になりました。



辰野病院土屋院長
歓迎のご挨拶

次に、辰野町立辰野病院に伺い、院長から歓迎のご挨拶と病院事務長から病院経営改善への取り組み等について説明をいただきました。医師不足による医療崩壊で、一時は経営的にも存続が危ぶまれたこともあったそうですが、近隣病院との連携の促進などにより入院患者が増え、これが黒字化への大きな力になったということでした。また、産婦人科・小児科・透視センターなどもあり充実していました。患者様がナースコールすると、部屋入口に設置された町のシンボル「ゲンジポタル」が光ります。院内は随所に工夫があり大変勉強になりました。第2日目は、木祖村の道の駅「木祖村」と塩尻市の道の駅「ならかわ」を視察しました。現在、当町において産直交流施設の検討がなされているところであり、その参考となりました。

町民の皆様には、希望に満ち溢れた新春を迎えることと存じます。

横芝光町議会は、議会改革特別委員会が設置され10か月が過ぎ、活発な議論が展開されています。議会改革4項目のうち、既に議員定数と議員報酬については方向性が決定し、残りは、会派制や政務活動費の協議が行われています。その結果、3月定例会に議員発議(案)として提出される予定です。一方、現況の議会議員全員協議会は、執行部の報告等のため議長が招集していましたが、新たに議会が行政調査等の活動を行うため、毎月1回、会議が設けられることとなりました。このように、町民の皆様は「信頼され開かれた議会づくり」を目指し、改革は出来るものから一歩一歩推進していきます。

議会だよりは、議会活動の状況を限られた枠の中で、町民の皆様にご理解をいただくため、「読みやすく・分かりやすく・親しみやすく」を追求しながら役割を果たすための創意工夫が必要不可欠だと思います。しかし、1年4回の発行では情報発信の限界があります。今後は、町民の皆様と議会とが、「まちづくりを語り合う場づくり」が課題と考えていますので、議会に対するご意見を遠慮なくお寄せ下さい。お待ちしております。

民生文教常任委員会
委員長 川島富士子

広報委員 山崎 貞一

編

集

後

記